

開拓使が設置された1869年からわずか150年という短い期間で、5万人弱だった人口が100倍に増え、豊かな社会を達成した北海道。その歴史をひも解くと、空知(石炭)、室蘭(鉄鋼)、小樽(港湾)とそれらをつなぐ鉄道を舞台に繰り広げられた、産業革命の物語(ストーリー)が見えてきます。この『本邦国策を北海道に観よ!~北の産業革命「炭鉄港」~』のストーリーは、令和元年5月20日に、日本遺産に認定されました。

日本遺産は認定されて終わりではなく、ストーリーを発信し、活用することが求められています。「炭鉄港」の特徴の一つは、ストーリーを彩る資源の多くが残されていることです。空知には数多くの炭鉱や鉄道の関連施設が現存しています。構成文化財や今に伝わる食や行事、炭鉱で働いた方々の記憶。こうした有形無形の宝物を連携させて発信・活用し、まちづくりや観光振興などにどのようにつなげていくか。

そのためには「炭鉄港」のストーリーをさらに掘り起こし、もっと多様な魅力へと発展させていくとともに、子どもたちに「炭鉄港」のストーリーや空知の歴史を伝えていくことも大切です。自分が生まれ育ったまちへの愛着、この地域が日本の成長を支えていたという誇りは、いつかまちを離れても故郷を想う原動力になるはずです。

空知の記憶を明日へつなぐ活動の一つとして「炭鉄港」のフォーラムを開催いたします。ぜひ、会場に足をお運びください。

## 開催概要

**日時** 2020年2月29日(土) 15:00~17:00

**会場** 岩見沢市自治体ネットワークセンター「マルチメディアホール」

**入場** 無料

## お申し込み

参加ご希望の方は下に必要事項をご記入の上、FAXかメールでお申し込みください。

**FAXの場合** 下記に必要事項をご記入のうえ、お送りください。

### 岩見沢会場

お名前:	参加人数:	名
お電話番号(固定・携帯どちらでも可):		

FAX送信先 **011-232-4918**(株式会社ノーザンクロス)

**メールの場合** お名前、参加人数、お電話番号、「岩見沢」会場への参加希望を明記して下記のアドレスへお送りください。

**ida@northerncross.co.jp**

\*お申込みいただかなくてもご入場いただけますが、定員になった場合はご参加いただけない場合もあります